



光る知性 豊かな心 強い意志

南 中 生

長井市立長井南中学校

令和 5 年 12 月 18 日

校長 赤間 幸生

創立50周年を見据えた 令和6年度 南中学生徒会のリーダー

3年生にとっては、南中を託すこの度の選挙。そして、3年後には有権者となる

生徒会長	遠藤 綾大 (2-3)
副会長 (2年)	梅津 光陽 (2-3)
〃 (〃)	佐藤 后珠 (2-2)
副会長 (1年)	狩野 柊成 (1-3)
〃 (〃)	大澤 瑠夏 (1-1)
議長	後藤 巧成 (2-2)
副議長 (2年)	加藤 諒 (2-2)
〃 (1年)	木村 眞大 (1-1)
生活委員長	梅津 栄汰 (2-1)
広報委員長	本石 薫 (2-1)
保健委員長	清野和夏菜 (2-3)
美化委員長	大津 壮亮 (2-3)
図書委員長	渡邊 柊希 (2-2)
体育委員長	高石 葵南 (2-3)
学芸委員長	斎藤 凜里 (2-1)
給食委員長	小関 慶 (2-1)
ボランティア委員長	小笠原千尋 (2-3)
応援団長	吉田 翔 (2-1)

ことも見越して体育館を投票所にしてのこの度の選挙。これまでも投票箱は、長井市選挙



管理委員会から本物をお借りしていたものの、今回は記名するための仕切り版もお借りして、本格的な投票所の中での投票でした。厳粛な中に、真剣な表情の3年生の姿が印象的でした。

立候補者のポスターは、顔写真にキャッチフレーズを記した物が生徒昇降口に並びました。立候補者の個性が輝き、勢いのあるポスターばかり。5日間の選挙運動期間は、寒い毎日でしたが、選挙管理委員のリーダーシップの下、元気いっぱい、力いっぱい、やる気みなぎる候補者のアピールが展開されました。そこには責任者はもちろん、同級生が応援する姿も。短期間の中でしたが、クラス巡り、放送での呼びかけなど、真剣な訴えが繰り返されました。

7日(木)に行われた立会演説会では現状の成果と課題をしっかりと捉えながら、「南中43年目」を意識した公約が力強く語られ、緊張感漂う中、投票へと続けました。1、2年生は教室で、おごそかで厳粛な空気が漂う中、公正な投票が行われました。



「高い志」 生み出す価値は無限大

3年生は、中学入学した時からコロナの中での生活。その中で過ごしてきたからこそ、つながりを大事にしながら「あたり前を丁寧に」する生徒会を創り、生活の質を高めてきました。今年の生徒会スローガン「結」は、3年生の3年間そのものであり、未来に思いを託す強い願いが込められていました。立ち会い演説会の中では、3年生から全ての立候補者に鋭い質問が投げかけられました。後輩に託す思いや期待、励ましの心が伝わり、あらためて3年生の大きさを感じました。



花を支える枝

枝を支える幹

幹を支える根

根は見えねんだなあ

これは相田みつをさんの作品。花とは、長井南中学校の大活躍。さらに、一人一人が良さを発揮して頑張っている姿のことです。その活躍を支える枝があり、幹があり、根があること。そしてその根は土の中にあって隠れている…。見えない所で南中生の活躍を支える人、これこそが生徒会役員です。



「根」が腐れたら大樹は倒れます。枯れてしまいます。衰退してしまいます。根が丈夫だと、強い雨、嵐、暴風雪、雷でも微動だにしません。

そんな**強い根っこになるリーダー**になってほしいと思っています。そして、学校教育目標の「**光る知性 豊かな心 強い意志**」を行動レベルまで具体化していくことを期待します。

